

保護者の皆様からいただいたご質問
こちらの質問は後援会総会、支部懇談会等でいただいたものです。

学業

Q
苦手科目についてテスト前に(自由参加で)補習等をしていただけないか？

A
学科・部門において補習を実施している場合があります。また、苦手科目への対応については学生が教員の研究室を直接訪問し指導を受ける(オフィスアワー)を奨励しています。

Q
1年生の時の成績通知書で物理 I で「F」をとってしまい「仮進級」という文字が書かれていました。親としてどのように思っておけばよいのか教えてください。

A
各学年で進級に必要な取得単位数が決まっています。また、各学年で配当されている必修科目は、その学年で単位を取得することが求められます。しかし、進級に必要な単位数に対する不足単位数が6単位以内であれば、仮進級として進級させることになっています。仮進級した場合は、過年度に取得出来なかった単位を追試験により取得することができます。

Q
定期テストの問題及び答案用紙を採点后コピー等をとり学生に返還してほしい。

A
JABEEのため答案を保管する必要があるため、採点結果を確認させるため授業中に一旦学生へ返却しますが、再度、回収しています。学生へ返却するためには、全科目・全学年の答案(数ページ)をすべてコピーする必要があります。コスト的に膨大となり、教科担当者の負担も増大します。今後は電子ファイルで答案を保管することも検討していきませんが、高速スキャナーの確保等予算面で課題を抱えています。
現在、答案をさらに確認したい学生には研究室を訪問し、間違っただ点、弱い点、今後の学習方法や学習計画について直接アドバイスを受けるように指導しています。

学寮

Q
女子寮内の様子やトラブル等への対応を知りたい。

A
女子寮の様子は指導寮生や女子寮長に様子を聞いて問題が発生する前に学寮委員(主として女性教員)が対応しています。

Q
入寮選考の基準はどのようになっていますか。高等学校に相当する3年までは学寮で生活させたい。

A
現在、1年男子は学寮の規則に違反しない限り、原則として2年間は学寮に入寮できます。学生定員800名に対して学寮の定員は600名弱であり、自宅通学者は100名程度です。入寮期間を3年間に延長することは、各方面の意見を聞き、今後検討していきます。

Q
4・5年生になっても寮に入れるようにするにはどうしたらよいか。留年しても寮に入れますか。

A
学校と学寮の規則を遵守し、授業に出席していれば問題ありません。また、留年しても入寮できます。

Q
入・退寮の審査時の加点扱いとなる指導寮生について立候補制として希望者はなれるようにすべきではないか？一部のクラブに集中している話も聞いている。

A
現状、自薦・他薦の後に面接を実施して、決定しており、希望者が必ずなれるシステムを採用していません。
クラブによっては予め上級生が後輩に指導寮生としての心構えを教え、後継者として推薦しているケースもあります。

Q
学寮運営において水道代(シャワー代)が財政を圧迫していると説明があったが、コインシャワー等の受益

者負担にできないのか？

A

現況、シャワーの利用制限を実施して対応しています。シャワーの受益者負担制度は設備の改修が必要であり、対応は困難です。

その他2・3号棟改修時の高専からの保護者・学生への連絡体制について様々な質問・ご意見等いただきました。

その他

Q

子供達の学校生活の様子などがわかる学校便り、クラス便りなどのプリントを配布してほしい。

A

現在、学校から保護者の皆様には「学校だより」を年3回、定期試験の成績を年4回郵送しています。この他に寮生会が「鶴友」を編集・発行していますが、寮生のための配布となっています。また、連絡が必要な場合は担任から保護者の皆様に連絡しています。ご子息・ご息女の学校での様子を知りたい場合は担任までご連絡ください。

また、後援会のホームページを開設しましたのも学校生活の様子をお知らせことを目的の一つとしています。